

学校関係者評価報告書

(令和 6 年度)

令和 7 年 11 月

学校法人藤仁館学園

専門学校高崎福祉医療カレッジ

【1】学校関係者評価の実施について

今回の学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って実施した「学校自己評価報告書（令和5年度）」について、当校に関係の深い3名の評価委員（委員名簿）に評価していただいた。

評価委員には、学校運営状況をまとめた資料を配布し、学校自己評価報告書の内容について説明した上で意見等を聴取した。

【2】学校関係者評価委員会 委員

氏名	所属	選出区分	任期
森岡 昭雄	株式会社まかせて	企業等	3年
石井 久美子	社会福祉法人 幸養会	保護者	3年
岩代 秀次	伸菱自興株式会社	卒業生	3年

【3】本校出席者

氏名	役職・所属等
佐藤 律夫	校長
武川 隆義	法人本部 経営企画室 室長
土屋 雅秀	介護福祉学科 教務課 課長
北澤 郁子	看護師学科 教務課 課長
阿部 正和	事務長

【4】日時・場所

令和7年11月4日（火） 午後4時30分～午後6時00分

専門学校高崎福祉医療カレッジ 普通教室⑤

【5】委員会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 評価委員紹介
- (4) 学校評価に係る経緯説明
- (5) 令和6年度学校自己評価報告
- (6) 意見交換
- (7) 閉会

【6】議題等

- (1) 校長挨拶及び趣旨説明・・・・佐藤校長

学校関係者委員会設置の経緯及び「職業実践専門課程」における委員会の位置付けについて説明。

- (2) 評価委員紹介・・・・・・・・阿部事務長

評価委員会メンバー紹介

なお、委員の名前と所属、会の内容は本校ホームページに記載されることを説明。出席者は全員了解した。

(3) 学校関係評価に係る経緯説明・・・・武川室長

「学校関係者評価基本方針」「専修学校における学校評価ガイドライン（文部科学省）」等の資料に基づき、学校関係者評価委員会の設置された経緯や委員会の位置付けや目的について説明した。

(4) 令和6年度学校自己評価報告・・・・土屋課長

本年10月に作成した「学校自己評価報告書（令和6年度）」について、各評価項目における現状、課題と改善策について報告があった。

(5) 意見交換

学校自己評価報告書の内容を踏まえ、今後の学校運営の改善等について、次のような意見をいたいた。

① 教育理念・目標について

（委員より）

貴校の掲げる「10年・20年先を見据えたリカレント教育体系の確立」を今以上に推進して頂きたい。また、常に現場との連動を心がけながら、理念・目的・育成人材像を確かなものにして、学生・保護者・教職員が共有していくことを心がけてください。

② 教育活動

（委員より）

教育課程編成委員会による意見を反映させ、また関係施設等との連携、実習巡回時の指摘事項について、カリキュラムの作成、見直しを実施し、実践的な職業教育を今以上に行ってください。

③ 学修成果

（委員より）

卒業生が気軽に学校に来られる環境はあると思うが、学校側主導で何か卒業生が集まれるようなイベントが企画されるといいと思う。

④ 学生支援

（委員より）

施設等の採用担当者を招いて説明会を行っていることは評価できる。今後も法人・企業と学生を繋げる機会を多く設け継続してもらえるといいと思う。

⑤ 教育環境

（委員より）

実習の受入れを通じて、施設の良さを理解し、最終的に就職につながる可能性が大きいので、実習先の開拓は大変重要であると感じます。

今後も、学生の就職を考慮し、実習先を開拓して下さい。

⑥ 学生の受入れ募集

（委員より）

厳しい状況が続いていると認識しました。留学生、社会人など様々なルートからの入学を得られるよう今後も工夫をしてほしい。

(6) 閉会・・・・佐藤校長

たくさんのご意見ありがとうございました。

多くの貴重なご意見やご指導をいただき、あらためて感謝申し上げる次第です。今後は各評価委員からいただいた貴重なご意見、ご助言を真摯に受け止め、より質の高い教育、学校運営を実現すべく教職員一同努力してまいります。

引き続き温かいご支援とご協力を願い申し上げます。